



Alleanza



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月10日 東

上場会社名 アレンザホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3546 URL <http://www.alleanza-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅倉 俊一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 三瓶 善明 (TEL) 024-563-6818  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	40,060	26.3	2,740	172.5	2,848	164.6	1,756	183.0
2020年2月期第1四半期	31,723	51.9	1,005	27.2	1,076	23.9	620	10.4

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,787百万円(185.9%) 2020年2月期第1四半期 625百万円(9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	58.53	58.41
2020年2月期第1四半期	24.92	24.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	82,363	22,038	25.4
2020年2月期	76,888	20,647	25.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 20,949百万円 2020年2月期 19,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,360	11.2	2,400	19.0	2,600	17.7	1,500	15.0	49.74
通期	147,580	7.2	3,600	7.5	4,000	6.0	2,300	21.1	76.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	30,168,966株	2020年2月期	30,152,760株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	161,015株	2020年2月期	160,306株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	30,008,055株	2020年2月期1Q	24,898,224株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発令されたことに伴い、政府、自治体による外出自粛・休業要請、海外渡航制限等の措置が講じられた影響により、大きく減速している状況であります。6月に入って感染状況を注視しながら、各種自粛等の制限も解除されておりますが、感染の第2波、第3波の懸念が払拭できない状況であることから今後の消費動向ならびに経済の見通しにつきましては予断を許さない状況であります。

このような状況の中で、当社グループは、休業要請のあった首都圏ならびに商業施設内に出店する一部ペット専門店舗を除いては営業を継続し、特に主力であるホームセンターは営業時間を短縮するなどの措置を講じながら、従業員の感染防止管理の徹底とお客様の安全を確保したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく、地域の生活インフラとして、生活必需品の安定的な供給に注力してまいりました。また、当第1四半期連結累計期間の新規出店としましては、ダイユーエイトは福島県、山形県に2店舗（ホームセンター、自転車専門店）、タイムは香川県にフィットネスクラブを1店舗、ジョーカーは東京都に1店舗（ペット専門店）をそれぞれ開設しております。また当第1四半期連結累計期間に、リプレイスおよびスクラップ&ビルドにより3店舗退店しております。これにより当第1四半期連結会計期間末の店舗数は263店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結営業収益は、400億6千万円（前年同期比26.3%増）、連結営業利益は27億4千万円（同172.5%増）、連結経常利益は28億4千8百万円（同164.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億5千6百万円（同183.0%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〔ダイユーエイト〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、客単価が前年同期比で1.9%減少しましたが、来店客数が前年同期比で13.3%増加したことにより、既存店売上高は11.2%の増加となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により除菌関連商品、マスク、ハンドソープ等の日用品、生活衛生用品の安定供給に努めたこともあって、当第1四半期全体を通じて高い売上水準で推移いたしました。政府、自治体による外出自粛要請が続く生活環境のなかで、木材塗料、工具金物、作業資材等のDIY関連商品を中心として、用土、肥料、野菜苗等の園芸、植物商品といった主力部門であるホームニーズ商品に大きなニーズがあり、来店客数が大きく増加したことにより既存店ベースでの商品売上高は前年同期比で大きく伸長しております。取扱高が順調に拡大しているEC部門においても、当期は「巣ごもり消費」の影響もあって、前年同期比で受注件数および取扱い高が増加している状況であります。とくに当期はEC物流センターを開設しており商品保管量の拡大、当日発送商品の充実等、EC利用者の利便性を高める取組みに着手しており、今後さらなる取扱い高の拡大とサービス機能の充実を図ってまいります。

販売費および一般管理費につきましては、チラシ等の販促活動を自粛したことにより広告宣伝費が減少したほか、当期の重点取組み課題であるコストコントロールへの取組みを継続して実施しており順次コスト低減を進めてまいります。

これらの結果、ダイユーエイトにおけるセグメント営業収益は125億円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益（営業利益）は8億5千9百万円（前年同期比202.4%増）となりました。

## 〔タイム〕

ホームセンター事業は、既存店ベースで、客単価が前年同期比で2.6%減少しましたが、来店客数が前年同期比で10.6%増加したことにより、既存店売上高は7.8%増加となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、天候に恵まれたこともあって、園芸、植物、農業資材等の商品の売れゆきが好調に推移しました。また新型コロナウイルス感染拡大に伴いマスク・除菌関連品等の日用品の販売数が増加し、在宅ワーク推奨や外出自粛によって家族の在宅時間が増えたことで木材・塗料等のDIY商品、家具・インテリア用品、キッチン・器具・調理用品等の家庭用品が好調に推移いたしました。一方、お花見・キャンプ・バーベキュー等のレジャー関連商品の売上は前年同期比で減少しております。

全社的な感染拡大を予防するための抑止策としましては、各種イベントの中止、4月中旬より折込チラシを中止し密な状況を作らないこと、ポイント5倍セール中止、ならびに営業時間の短縮等の措置を講じております。

販売費および一般管理費につきましては、作業に応じた人員の配置、残業時間の削減を実施した他、間接部門の経費削減を行うことで必要コストの圧縮を継続しております。

これらの結果、タイムにおけるセグメント営業収益は42億3千2百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益（営業利益）は2億7千9百万円（前年同期比437.4%増）となりました。

[ホームセンターバロー]

ホームセンターバローは、既存店ベースの客単価が前年同期比で2.0%減少しましたが、来店客数が前年同期比で8.8%増加したことにより、既存店売上高は6.7%増加となりました。

売上高における既存店ベースでの商品別販売動向につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりDIY関連および生活衛生用品の売上が高い水準を維持するとともに、天候に恵まれたこともあって園芸関連商品の販売が好調に推移いたしました。また、タイヤサービスやリフォームなど専門性の高い商材やサービス部門が伸長したことから、売上総利益率も前年同期比で改善しております。

ペットフォレストにおいては、新型コロナウイルス感染拡大により休業を余儀なくされた店舗がありました。ステイホームの生活環境の中で小動物などの生体、ペットスナック、シャンプーやおもちゃの販売が堅調に推移いたしました。同様に外出自粛要請が続くなかで、EC部門につきましても着実に受注件数を伸ばしており、当期は知名度の浸透とともに更なるサービスの拡充を図ってまいります。

販売費および一般管理費につきましては、自粛要請中の折り込みチラシの中止やLINE配信による広告配信へのシフト、ならびに営業時間の短縮等により感染防止に配慮するとともに、経費削減活動に取り組んでまいりました。

これらの結果、ホームセンターバローにおけるセグメント営業収益は162億3千1百万円（前年同期比57.4%増）、セグメント利益（営業利益）は12億4千5百万円（前年同期比125.4%増）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による休業期間中に発生したペットフォレストの固定費を営業自粛による損失として特別損失に計上しております。

前第1四半期連結累計期間に含まれるホームセンターバローの業績は、決算期変更により2019年4月1日から2019年5月31日までの2ヶ月間となっております。

[アミーゴ]

ペットショップアミーゴは、既存店ベースで来店客数が前年同期比で5.5%増加し、客単価が前年同期比で10.0%増加したことにより、既存店売上高は16.1%増加となりました。

当第1四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染拡大がペット業界における購買動向に大きな影響を及ぼしております。とくに長期間の外出自粛要請のなかで、ペットに癒しを求めるお客様が多く見られ、犬、猫のほか小動物など室内で飼育出来るペット、これらに関連する飼育用品の売上高が前年同期比で伸長したこと、また、ペットフードやシーツ、猫砂といったペットの生活必需品、消耗品のまとめ買いの需要が高まったことでもあります。商品欠品への不安、買い物頻度の削減など、来店されるお客様の危機意識が高まっているなかで、店舗における感染防止に十分配慮し、安心安全な買い物環境の整備、商品提案に取り組んでまいりました。

これらの結果、アミーゴにおけるセグメント営業収益は52億2千3百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億2千9百万円（前年同期比336.5%増）となりました。

[その他]

セグメント営業収益は33億6千5百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3億9千6百万円（前年同期比345.9%増）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による休業期間中に発生したジョーカーの営むペットショップの固定費を営業自粛による損失として特別損失に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態としましては、総資産が823億6千3百万円、負債が603億2千4百万円、純資産は220億3千8百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は25.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2020年4月13日付「2020年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました業績予想値に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,197,559	8,921,716
売掛金	1,336,099	1,949,657
有価証券	-	5,079
たな卸資産	23,262,170	23,877,637
未収入金	6,159,036	7,750,981
その他	1,088,830	1,091,780
貸倒引当金	△3,029	△3,134
流動資産合計	38,040,666	43,593,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,478,298	37,286,840
減価償却累計額	△20,669,810	△20,926,115
建物及び構築物 (純額)	15,808,488	16,360,724
土地	4,144,910	4,144,910
リース資産	2,806,176	3,035,776
減価償却累計額	△1,216,387	△1,290,944
リース資産 (純額)	1,589,788	1,744,832
その他	8,879,271	8,070,210
減価償却累計額	△5,763,895	△5,823,612
その他 (純額)	3,115,376	2,246,598
有形固定資産合計	24,658,563	24,497,065
無形固定資産		
のれん	1,799,084	1,775,412
その他	5,055,706	5,146,052
無形固定資産合計	6,854,790	6,921,464
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,112,716	5,166,864
その他	2,272,521	2,234,288
貸倒引当金	△50,763	△50,363
投資その他の資産合計	7,334,473	7,350,788
固定資産合計	38,847,827	38,769,318
資産合計	76,888,494	82,363,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,996,585	15,907,295
電子記録債務	5,766,791	4,516,521
短期借入金	3,798,277	4,379,477
1年内返済予定の長期借入金	4,009,501	4,142,156
リース債務	625,752	668,754
未払法人税等	522,762	1,101,588
役員賞与引当金	5,500	1,375
ポイント引当金	431,979	405,631
転貸損失引当金	900	11,344
その他	9,341,818	9,110,590
流動負債合計	36,499,867	40,244,734
固定負債		
長期借入金	13,981,658	14,392,149
リース債務	1,442,117	1,553,473
役員退職慰労引当金	106,372	108,912
退職給付に係る負債	1,018,151	1,038,311
資産除去債務	1,145,685	1,171,439
その他	2,046,747	1,815,289
固定負債合計	19,740,733	20,079,575
負債合計	56,240,600	60,324,309
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,330	2,004,600
資本剰余金	12,328,797	12,333,067
利益剰余金	5,239,577	6,606,129
自己株式	△430	△514
株主資本合計	19,568,273	20,943,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△149	11,448
退職給付に係る調整累計額	2,569	△5,726
その他の包括利益累計額合計	2,419	5,722
新株予約権	40,955	32,431
非支配株主持分	1,036,244	1,057,292
純資産合計	20,647,893	22,038,728
負債純資産合計	76,888,494	82,363,038

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
売上高	30,906,929	39,077,102
売上原価	21,324,365	26,388,673
売上総利益	9,582,563	12,688,428
営業収入	816,321	983,892
営業総利益	10,398,885	13,672,321
販売費及び一般管理費	9,393,128	10,931,514
営業利益	1,005,757	2,740,807
営業外収益		
受取利息	7,801	9,516
受取配当金	444	697
受取手数料	109,072	120,380
その他	55,025	50,666
営業外収益合計	172,343	181,260
営業外費用		
支払利息	44,851	38,093
借入手数料	43,692	28,862
その他	12,806	6,562
営業外費用合計	101,350	73,517
経常利益	1,076,749	2,848,549
特別利益		
固定資産売却益	-	195
保険金収入	-	3,207
その他	-	118
特別利益合計	-	3,521
特別損失		
固定資産売却損	749	-
固定資産除却損	54	4,067
減損損失	-	7,137
営業自粛による損失	-	99,863
その他	-	6,243
特別損失合計	803	117,312
税金等調整前四半期純利益	1,075,946	2,734,758
法人税、住民税及び事業税	247,310	1,103,724
法人税等調整額	190,365	△153,397
法人税等合計	437,676	950,326
四半期純利益	638,269	1,784,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,585	27,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	620,683	1,756,453



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	638,269	1,784,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,848	11,405
退職給付に係る調整額	△7,291	△8,295
その他の包括利益合計	△13,139	3,109
四半期包括利益	625,129	1,787,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	608,051	1,759,756
非支配株主に係る四半期包括利益	17,078	27,785

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイユー エイト	タイム	ホームセンタ ーバロー	アミーゴ	計		
営業収益							
外部顧客への 売上高	10,799,694	3,860,073	10,307,088	4,357,590	29,324,446	2,398,804	31,723,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	131,112	44,745	—	—	175,858	934,736	1,110,594
計	10,930,806	3,904,819	10,307,088	4,357,590	29,500,304	3,333,541	32,833,845
セグメント利益	284,320	52,053	552,175	75,571	964,120	89,016	1,053,136

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アレンザホールディングスにおける取引等のほか、アレンザホールディングス、ダイユーエイト、タイム及びアミーゴそれぞれの関係会社が含まれています。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	964,120
「その他」の区分の利益	89,016
セグメント間取引消去	△78,498
のれんの償却額	△23,672
固定資産の調整額	83,575
その他	△28,783
四半期連結損益計算書の営業利益	1,005,757

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当連結会計年度より、株式交換による株式を取得したことで株式会社ホームセンターバローを連結子会社としたことに伴い、全社資産としてののれんが1,893,773千円増加しております。

なお、のれんの金額は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイユー エイト	タイム	ホームセンタ ーバロー	アミーゴ	計		
営業収益							
外部顧客への 売上高	12,367,351	4,185,044	16,231,770	5,223,514	38,007,682	2,053,312	40,060,995
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	133,488	47,245	—	—	180,733	1,311,730	1,492,464
計	12,500,840	4,232,289	16,231,770	5,223,514	38,188,415	3,365,043	41,553,459
セグメント利益	859,938	279,759	1,245,085	329,943	2,714,727	396,942	3,111,669

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アレンザホールディングスにおける取引等のほか、アレンザホールディングス、ダイユーエイト、タイム及びアミーゴそれぞれの関係会社が含まれています。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,714,727
「その他」の区分の利益	396,942
セグメント間取引消去	△332,262
のれんの償却額	△23,672
固定資産の調整額	13,855
その他	△28,783
四半期連結損益計算書の営業利益	2,740,807

## (企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2019年4月1日を効力発生日として行われた、当社を株式交換完全親会社、株式会社ホームセンターバローを株式交換完全子会社とする株式交換について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されました。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ11,119千円減少しましたが、法人税等調整額が9,862千円減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,257千円減少しております。

## (追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、政府・自治体による外出自粛要請等の影響を受け、休業要請のあった首都圏ならびに商業施設内に出店する一部ペット専門店を休業しております。このような状況のなか、今後の需要は徐々に回復し、当連結会計年度下期には、感染拡大前の水準まで回復するものと仮定して、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積もりを行っております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。